

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	金沢星稜大学
設置者名	学校法人稻置学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配 置 困 難	
			全学共通科目	学部等共通科目	専門科目	合計			
経済学部	経済学科		55	40	14	109	13		
	経営学科				38	133	13		
	地域システム学科				14	109	13		
人間科学部	スポーツ学科		14	103	172	13			
	こども学科			144	213	13			
人文学部	国際文化学科		9	8	72	13			
	国際英語学科			16	80	13			
(備考)									

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

WEBシラバスのシラバス検索にて、学部欄に「当該学科名」（共通科目は「共通」）、キーワード欄に「実務教員」を入力し検索

<http://www.seiryo-u.ac.jp/u/outline/data.html>

（「シラバス検索」）

※シラバス検索の際は同一科目が複数表示されるが、学則科目の単位数で換算するため同一科目は1科目分の単位数を計上する。

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名なし
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	金沢星稜大学
設置者名	学校法人稻置学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

学校法人稻置学園 Web サイト 稲置学園の概要「寄附行為・役員一覧」にて公表
<https://www.seiryo.jp/summary/donation.html>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤 の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	ジャストホールディングス株式会社 代表取締役	2024年6月10日 ～2027年定時評議員会終結時	組織運営体制のチェック機能
非常勤	公益財団法人ほくりくみらい基金 代表理事 アステナホールディングス株式会社 社外取締役	2023年4月1日～ 2027年3月31日	組織運営体制のチェック機能
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	金沢星稜大学
設置者名	学校法人稻置学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。

(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)

本学では、2012年度以来、毎年度『シラバス作成マニュアル』を作成し、授業を担当する全ての教員は、それに基づいてシラバスを作成している。『シラバス作成マニュアル』には、シラバスの目的をはじめ、必修・共通科目、教職関連科目及びシラバス全般の作成指針を明示し、全ての教員で共有するように努めている。

シラバスの記載項目は、「授業意図」「科目的具体目標」「履修条件」「授業計画表(予習・復習を含む)」「成績評価(方法・割合・留意事項)」「成績評価のフィードバック」「教科書・参考書」「事前事後学修の内容」「アクティブラーニングの要素」「実務経験の内容」等となっており、具体的に記述するよう設定している。

また、記載項目については、教育改革と併せ、適宜見直しを行ってきている。

シラバスは、システムで管理しており、登録後はシラバスが適正かどうか、教務部会および教務課で確認を行うようにしている。また、本学の教育内容の詳細を地域社会に発信する良い機会となることから、シラバスを当該年度の前年度末に本学WEBサイトで公開し、学生だけでなく誰でも自由に閲覧・検索できるようになっている。

授業計画書の公表方法	本学WEBサイトにて公表 http://www.seiryo-u.ac.jp/u/outline/data.html (授業科目的名称、授業の方法・内容、年間授業計画「シラバス」)
------------	--

2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。

(授業科目的学修成果の評価に係る取組の概要)

本学の単位認定は、各科目の到達目標に対する到達度を、それぞれの授業形態に応じた成績評価方法により点数化し、評価点が100点法に基づき60点以上であることを全学共通としている。なお、授業の欠席が3分の1を超えた場合は、原則、その科目的単位は認定されないことになっている。また、成績評価の厳正な運用のための工夫として、学生からの成績疑義申し立ての制度を設けている。成績評価について疑義や不満のある学生が、成績通知後に所定の手続を取ることにより、教員から成績判定の内容、根拠等の説明を受けることができる。

成績の評価は、学期末テスト、小テスト、レポート及び卒業研究等により行い、90点以上(S)、80点以上(A)、70点以上(B)、60点以上(C)、60点未満(D不合格)の5段階となっている。

また、他の大学等で履修し取得した単位を、60単位を超えない範囲で教務部会、教授会の審議を経て、学長が本学の同等な内容の科目的単位として認定することができることになっている。

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

本学は、成績評価をより明確にするため、全学で GPA 制度を導入している。科目ごとに評価された成績に対して、段階ごとに所定のグレードポイント (GP 値) を付与し、半期ごとに個々の学生が履修登録した全ての科目 (D 評価の不合格科目を含む) の GP 値の 1 単位あたりの平均 (GPA) を算出したものである。S 評価は GP 値 4、A 評価は同 3、B 評価は同 2、C 評価は同 1、D 評価は同 0、となっており、最高点は 4.00 (全ての履修科目において S 評価) になる。なお、技能審査による単位認定をした科目の成績は、GPA の対象にならない。

<GPA の計算式>

$$\frac{\{(\text{科目の単位数}) \times (\text{当該科目での GP 値})\} \text{ の総和}}{\text{履修登録した単位数の総和}}$$

GPA の算出、管理はシステムで行っており、全教員が学生の GPA を確認できる。また、教務課職員は、各学部・学科の GPA の分布状況も把握できるようになっている。

客観的な指標の
算出方法の公表方法

全学生に配付する『学生便覧』に掲載するとともに、
本学 Web サイトにて公表

<https://www.seiryo-u.ac.jp/u/outline/data.html>

(学生便覧)

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

各学部のディプロマ・ポリシーの具体的な内容は、次のとおりである
(学科については記載省略)。

経済学部では、学士課程教育を通じて、以下の [知識・理解] [汎用的技能] [態度・志向性] [総合的な学習経験と創造的思考力] を修得した学生に、経済学科は学士(経済)、経営学科は学士(経営学)、地域システム学科は学士(経済)、の学位を授与します。

1. 知識・理解

- (1) 経済事象の問題点を認識し、情報収集、分析、解決策の提案に必要な知識と能力が身についている。

2. 汎用的技能

- (1) 組織の一員としての判断力、行動力、コミュニケーション能力を身につけ、自らの考えを的確に表現することができる。

3. 態度・志向性

- (1) 社会の一員としてグローバル社会及び地域社会の課題を連関したものとしてとらえ、持続可能な社会づくりに向けその解決に積極的に関与していく姿勢・態度が身についている。

4. 総合的な学修経験と創造的思考力

- (1) 経済・経営にかかわる諸活動を理論、政策、歴史の観点から学び、論理的な思考と全体を総合的・俯瞰的に把握し、それを文章に書くことができる。

人間科学部では、学士課程教育を通じて、以下の能力を身に付けた学生に、学士(人間科学)の学位を授与します。

1. 知識・理解

- (1) 人間の心と体の発育・発達とその課題について、人間科学の諸理論から説明することができる。

- (2) 社会における人間の在り方について、フィールド演習や実習で培った実践的知識を人間科学の諸理論と関連づけて往還的に思考することができる。

2. 汎用的技能

- (1) 人間を探究するための社会・文化的、科学・技術的ツールを用いることができるとともに、問題状況に応じてこれらのツールを適切に使い分けたり、あるいは相互作用的に活用したりすることができる。

- (2) 人間に対する深い愛情と尊敬をもって、異なる文化・世代・立場の人たちとも理解し合えるコミュニケーションスキルを身にしている。

3. 態度・志向性

- (1) 地域の人々と協働して人と社会に関する課題に取り組み、共生社会の創造と発展に寄与しようとする態度を身にしている。

- (2) 自らの可能性を探し、広げ、自己実現にむけて常に学び続けていこうとする意欲をもっている。

4. 総合的な学修経験と創造的思考力

- (1) 教員免許状や各種の資格(スポーツ指導員や保育士資格など)を取得したり、地域でのフィールド活動や海外での研修を行ったりした経験を、学校や地域団体、企業、関係機関の現場で活かすことができる。

- (2) スポーツ学科では「スポーツスペシャリスト」として、こども学科では「こどもスペシャリスト」としてそれぞれの専門性を身につけ、新たな課題を主体的に解決していくための思考ができる。

人文学部では、学士課程教育を通じて、以下の能力を身に付けた学生に、学士（人文学）の学位を授与します。

1. 知識・理解

- (1) 自国を含む世界各地の文化に触れ、異なる生活様式や価値観を理解することができる。
- (2) 様々な英語の学習を通して、高い英語運用能力を習得することができる。
- (3) 世界の人々と対話をし、自国や地域の文化を発信する英語コミュニケーションスキルを持っている。

2. 汎用的技能

- (1) 他人の意見を理解できるとともに、自らの意見を論理的な文書や口頭による説明としてまとめることができる。
- (2) 課題発見や課題解決、および、情報収集と分析などの手法を用いて様々な課題を解決することができる。

3. 態度・志向性

- (1) 困難な課題に直面しても、論理的に考え、課題解決に向けて相手と粘り強く交渉する態度を身につけている。
- (2) 周囲の状況を鑑み、自らの長所を活かすための行動を考え、それを実行できる態度を持っている。

4. 統合的な学修経験と創造的思考力

- (1) 時代を拓く新たな発想を展開できる知性と教養を身につけている。
- (2) 習得した知識と技能を生かし、積極的に地域社会や国際社会に貢献することができる。

卒業の認定に関する方針の公表方法	全学生に配付している学生便覧に掲載し、WEB サイトでの公開により周知している。 https://www.seiryo-u.ac.jp/u/education/index.html https://www.seiryo-u.ac.jp/u/outline/data.html (3つのポリシー 卒業認定・学位授与の方針)
------------------	--

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	金沢星稜大学
設置者名	学校法人稻置学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	学校法人稻置学園 Web サイトにて公表 https://www.seiryo.jp/disclosure/finance.html
収支計算書又は損益計算書	学校法人稻置学園 Web サイトにて公表 https://www.seiryo.jp/disclosure/finance.html
財産目録	学校法人稻置学園 Web サイトにて公表 https://www.seiryo.jp/disclosure/finance.html
事業報告書	学校法人稻置学園 Web サイトにて公表 https://www.seiryo.jp/disclosure/report.html
監事による監査報告（書）	学校法人稻置学園 Web サイトにて公表 https://www.seiryo.jp/disclosure/finance.html

2. 事業計画（任意記載事項）

単年度計画（名称：	対象年度：	）
公表方法：		
中長期計画（名称：	対象年度：	）
公表方法：		

3. 教育活動に係る情報

（1）自己点検・評価の結果

公表方法：本学 WEB サイトにて公表 https://www.seiryo-u.ac.jp/u/outline/data.html (自己点検評価書)

（2）認証評価の結果（任意記載事項）

公表方法：本学 WEB サイトにて公表 https://www.seiryo-u.ac.jp/u/outline/data.html (大学認証評価について)
--

(3) 学校教育法施行規則第172条の2第1項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業又は修了の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 経済学部 人間科学部 人文学部
教育研究上の目的 (公表方法：WEBサイトにて公表)
(概要) https://www.seiryo-u.ac.jp/u/outline/data.html
学部及び学科の教育研究上の目的を、上記のWEBページで示している。 (教育研究上の目的)
卒業又は修了の認定に関する方針 (公表方法：WEBサイトにて公表)
(概要) https://www.seiryo-u.ac.jp/u/outline/data.html
学部及び学科の卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）を、上記WEBページで示している。 (「3つのポリシー」卒業認定・学位授与の方針)
教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法：WEBサイトにて公表)
(概要) https://www.seiryo-u.ac.jp/u/outline/data.html
学部及び学科の教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）を、上記WEBページで示している https://www.seiryo-u.ac.jp/u/outline/data.html
(「3つのポリシー」教育課程編成・実施の方針)
入学者の受入れに関する方針 (公表方法：WEBサイトにて公表)
(概要) https://www.seiryo-u.ac.jp/u/outline/data.html
学部及び学科の入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）を、以下のWEBページで示している https://www.seiryo-u.ac.jp/u/outline/data.html
(「3つのポリシー」入学者受入れの方針)

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：本学WEBサイトにて公表
https://www.seiryo-u.ac.jp/u/outline/data.html
(自己点検評価書)

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）																			
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手その他	計												
—	4人	—					4人												
経済学部	—	19人	11人	4人	人	人	34人												
人間科学部	—	12人	5人	6人	3人	2人	28人												
人文学部	—	5人	6人	1人	1人	人	13人												
教養教育部	—	4人	4人	1人	人	人	9人												
教職支援センター	—	人	1人	人	人	人	1人												
総合情報センター	—	人	1人	人	人	人	1人												
国際交流センター	—	人	人	1人	人	人	1人												
b. 教員数（兼務者）																			
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計												
人		人					79人												
各教員の有する学位及び業績 (教員データベース等)	公表方法：本学 WEB サイトにて公表 https://www.seiryo-u.ac.jp/u/outline/teacher.html																		
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）																			
FD活動は、担当副学長が中心となって年間活動計画を立案するとともに全教員に周知し、全体研修や分科会研修を組織的に行ってている。																			

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等

学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
経済学部	440 人	563 人	128.0%	1,760 人	1,999 人	113.6%	一人	1 人
人間科学部	143 人	151 人	105.6%	572 人	628 人	109.8%	一人	一人
人文学部	75 人	93 人	124.0%	300 人	309 人	103.0%	一人	一人
合計	658 人	807 人	122.6%	2,632 人	2,936 人	111.6%	一人	1 人

(備考)

b. 卒業者数・修了者数、進学者数、就職者数

学部等名	卒業者数・修了者数	進学者数		就職者数 (自営業を含む。)	その他
		人	(%)		
経済学部	430 人 (100%)	3 人 (0.7 %)		416 人 (96.7 %)	11 人 (2.6 %)
人間科学部	129 人 (100%)	2 人 (1.6 %)		126 人 (97.7 %)	1 人 (0.8 %)
人文学部	68 人 (100%)	1 人 (1.5 %)		66 人 (97 %)	1 人 (1.5 %)
合計	627 人 (100%)	6 人 (1 %)		608 人 (97 %)	13 人 (2 %)

(主な進学先・就職先) (任意記載事項)

(備考)

c. 修業年限期間内に卒業又は修了する学生の割合、留年者数、中途退学者数 (任意記載事項)

学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業・修了者数		留年者数	中途退学者数	その他
		人 (100%)	(%)			
	人 (100%)	人 (%)		人 (%)	人 (%)	人 (%)
	人 (100%)	人 (%)		人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	人 (100%)	人 (%)		人 (%)	人 (%)	人 (%)

(備考)

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要)

授業科目の名称、授業の方法・内容、年間授業計画

<http://www.seiryo-u.ac.jp/u/outline/data.html>

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること
 (概要)

学修成果の評価の基準・卒業認定の基準

<http://www.seiryo-u.ac.jp/u/outline/data.html>

学部名	学科名	卒業又は修了に必要となる単位数	G P A制度の採用(任意記載事項)	履修単位の登録上限(任意記載事項)
経済学部	経済学科	124 単位	有	44 単位
	経営学科	124 単位	有	44 単位
	地域システム学科	124 単位	有	44 単位
人間科学部	スポーツ学科	124 単位	有	44 単位
	こども学科	124 単位	有	44 単位
人文学部	国際文化学科	124 単位	有	44 単位
	国際英語学科	124 単位	有	44 単位
G P Aの活用状況(任意記載事項)	公表方法:			
学生の学修状況に係る参考情報(任意記載事項)	公表方法:			

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法: WEB サイトにて公開

<https://www.seiryo-u.ac.jp/u/outline/data.html>

(校地、校舎等の施設・設備その他の教育研究環境)

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料(年間)	入学金	その他	備考(任意記載事項)
経済学部	経済学科	1, 050, 000 円	150, 000 円	円	
	経営学科	1, 050, 000 円	150, 000 円	円	
	地域システム学科	1, 050, 000 円	150, 000 円	円	
人間科学部	スポーツ学科	1, 140, 000 円	150, 000 円	円	
	こども学科	1, 140, 000 円	150, 000 円	円	
人文学部	国際文化学科	1, 212, 000 円	150, 000 円	円	
	国際英語学科	1, 212, 000 円	150, 000 円	円	

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組

(概要)

会計・金融、ビジネス、IT 及び語学など、社会に必要な資格取得、国家試験合格のための学習支援を行っている。大学の授業と並行して受講できる日程を設定、授業と重ならないよう夜間の開講が多いが通学が困難な方や時間に余裕がない方でも学習できるように「WEB 学修システム」を導入し、学生が自身のスケジュールに合わせて受講できる環境を整えている。

<https://www.seiryo-u.ac.jp/u/career/extensioncenter.html>

教員や保育士を目指す学生への教職科目等の履修指導から採用試験対策を行う教職支援センターを設置している。教育実習、保育実習及び介護等体験の調整のほか、卒業生へのサポート等の支援も行う。

<https://www.seiryo-u.ac.jp/u/career/extensioncenter.html>

b. 進路選択に係る支援に関する取組

(概要)

40 社を超える企業が参加する学内業界研究会の開催をはじめ、就職ガイダンス、フェリー内で研修を行う洋上の就職合宿、グローバル人材として成長する基礎を身につける語学留学プログラム、オリジナルの就職支援サイトによる情報促進など、多様な支援体制を整えている。

<https://www.seiryo-u.ac.jp/u/career/support.html>

c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組

(概要)

公認心理師が対応する学生相談室、学内での疾病・外傷等の応急措置や健康相談を行う保健室に加え、障がいのある学生のニーズに基づく必要な支援を行うアクセシビリティ支援室を設置している。また、ハラスマントの相談や申し立て等の窓口となるハラスマント相談員を設置し、学内に周知を図り、健全で快適なキャンパスづくりに取り組んでいる。

<https://www.seiryo-u.ac.jp/u/campuslife/life.html>

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：公表方法：WEB サイトにて、教育に関する基本データ及び教員個々の研究業績を公表している。

また、ゼミナールや学生の日々の教育研究活動についても、NEWS & TOPICS で情報を随時更新し公表している。

<https://www.seiryo-u.ac.jp/u/education/index.html>

<https://www.seiryo-u.ac.jp/u/outline/teacher.html>

<https://www.seiryo-u.ac.jp/u/>

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄（合計欄を含む。）について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「一」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード（13桁）	F117310105451
学校名（○○大学等）	金沢星稜大学
設置者名（学校法人○○学園等）	学校法人稻置学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者数 ※括弧内は多子世帯の学生等（内数） ※家計急変による者を除く。		246人（18）人	237人（22）人	258人（27）人
内訳	第I区分	112人	119人	
	（うち多子世帯）	()人	()人	
	第II区分	66人	51人	
	（うち多子世帯）	()人	()人	
	第III区分	50人	45人	
	（うち多子世帯）	()人	()人	
	第IV区分（理工農）	0人	0人	
	第IV区分（多子世帯）	18人	22人	
	区分外（多子世帯）	人	人	
家計急変による 支援対象者（年間）				— (0)
合計（年間）				260人（27）人
（備考）				

※ 本表において、多子世帯とは大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第8号）第4条第2項第1号に掲げる授業料等減免対象者をいい、第I区分、第II区分、第III区分、第IV区分（理工農）とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第2号イ～ニに掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	年間		前半期	後半期
		年間	前半期		
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	—	—	人	人	人
修得単位数が「廃止」の基準に該当 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が廃止の基準に該当)	—	—	人	人	人
出席率が「廃止」の基準に該当又は学修意欲が著しく低い状況	—	—	人	人	人
「警告」の区分に連続して該当 ※「停止」となった場合を除く。	13人	—	人	人	人
計	19人	—	人	人	人
(備考)					

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）
年間	0人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

(1) 停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けしたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、停止を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限り。）	
		年間	前半期
G P A等が下位4分の1	—	人	人

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限り。）	
		年間	前半期
修得単位数が「警告」の基準に該当 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が警告の基準に該当)	—	人	人
G P A等が下位4分の1	43人	人	人
出席率が「警告」の基準に該当又は学修意欲が低い状況	—	人	人
計	48人	人	人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。